HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	地域の複数性に関する人類学的研究 ： 中国人の観光における「北海道」の生成［論文内容及び審査の要旨］
Author(s)	周, 菲菲
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(文学)
Dissertation Number	甲第11173号
Issue Date	2014-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/55310
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/
Type	doctoral thesis
File Information	Zhou_Feifei_review.pdf, 審査の要旨

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（文学）　　氏名：　周　菲　菲

審査委員　主査　准教授　小田博志
副査　教　授　権　錫永
副査　教　授　佐藤錬太郎
副査　名誉教授　宮武公夫（北海道大学）

学位論文題名
地域の複数性に関する人類学的研究―中国人の観光における「北海道」の生成

本論文の研究成果として特筆すべき点は、二つある。一つ目は、著者が北海道在住の中国人留学生としての立場を活かして、中国人観光者の視点と行動とを内側から詳細に描き出すことに成功している点である。これはまず実証的資料として貴重であるばかりでなく、今後の応用的な観光研究の発展に寄与することにもなるだろう。二点目は、地域を単一の実在物と素朴に前提するのではなく、多様なアクターが関わることで形成されるネットワークの函数として捉え、その変動によって地域自体も複数生成されるという結論を提示していることである。これは地域の捉え方を刷新するような理論的知見である。またそのための理論モデルにおいて、アクター・ネットワーク論の「ブラックボックス化」の概念を拡張して、ネットワークの安定化のみならず、それらが揺らぎ、組み換えられて新たな地域が生成する過程まで捉えている点は独創的であり、今後のアクター・ネットワーク論に基づく様々な研究に示唆することが大きいと評価できる。

この他に方法論の点でも、日本各地や中国本土だけでなく、サイバー空間などを含めた複数の場における綿密な調査に基づき、旧来の現地調査とオンライン・エスノグラフィーとを有機的に結合した新しい多現場エスノグラフィーの姿を示している。その結果、北海道を訪れる中国人観光者の世界を説得的に伝えるものとなっている。観光とインターネットおよび ICT（情報通信技術）との結びつきがますます強まる現代社会において、本論文の方法論的達成は、観光のエスノグラフィーの一つの基準とみなされる。

さらに、研究の基盤となる文献レビューを、観光研究とアクター・ネットワーク論はもとより、グローバリゼーション論、消費社会論、ポストモダニズム研究、人類学における存在論や全体論など、多岐にわたる分野において周到に行っている点もまた瞠目すべきである。

以上のように、本論文は、実証的・方法論的・理論的な諸側面から高い水準に達している。部分的には、地域イメージとアクター・ネットワークとの関係の統合的モデル化や、「ブラックボックス」と他の類似概念との比較検討などの点で進展の余地は見られる。しかしながら、それは本論文の意義と独創性を損なうものではない。審査委員会では一致して本論文が博士（文学）の学位授与に相応しいものと判断した。